

# 「ちばのやる気」学習ガイド活用事例

「ちばのやる気」学習ガイド(冊子)と評価問題データベース(Web)について、効果的な活用事例等を紹介します。

## ○「ちばのやる気」学習ガイド(冊子) 「ちばのやる気」学習ガイド

- ・「ちばのやる気」学習ガイドのリーフレットと活用事例を職員室に掲示し、冊子の活用を図ることができた。
- ・新しい単元に入るとき、事前学習として目標①②に取り組む、基礎・基本の定着に効果的だった。
- ・単元のまとめの学習として、目標③④⑤の問題を、生徒が習熟の程度に応じて選択し、取り組んだ。
- ・1単元分を印刷してとじ込み、それぞれの生徒に配付し、家庭学習や自習等で取り組ませた。また、授業の最後の10分を使い、その時間に学習した内容の定着を図った。
- ・目標②③は基礎基本を確実にするため、目標④⑤は思考力を高めるため、自習時間や家庭学習等で生徒に取り組ませた。
- ・解答解説は、問題に取り組ませた後に、家庭学習用として配付した。
- ・国語の学習資料で、「ちばっ子配当漢字」を全ページ印刷して生徒に配り、家庭学習として取り組ませた。また、小テストとして定期的に10題程度を出題して定着を図った。
- ・英語の「単語リスト」の中から単語テストを実施した。
- ・未製本の冊子を教科ごとにファイリングして、すぐに印刷ができるようにしておいた。



1年生改訂版を作成し、各中学校に配付しました。

## ○評価問題の配信(Web) 問題データベース

- ・5教科の先生方すべてに、IDとパスワードを周知していつでも活用できるようにした。
- ・データベースから問題を選択して、夏季休業や冬季休業後のテストを作成した。
- ・1つの単元の学習が終わったとき、生徒の理解が深まっていない問題をデータベースから選択して復習させた。
- ・1年生で作成した独自のプリントを、2・3年生でも復習用として利用した。
- ・レディネステストや家庭学習のプリントを作成して取り組ませた。
- ・単元が終了した段階で、生徒の到達度を確認するためのテストとして、難易度別にデータベースから問題を選択して取り組ませた。
- ・県共通評価問題は、すべての学校で県内一斉に行うとデータも揃い、効果的である。

※すべての教科において、次の条件で著作権の使用許諾を得ています。

- ・使用対象者：県内の公立中学校生徒と教員
- ・使用範囲：授業における使用や予習、復習、宿題等